
情報 I No. 04

知的財産権

年	1	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第1章 情報社会の問題解決 4. 法の重要性と意義～知的財産権

【実習1】著作権や知的財産権の侵害の例を調べよう。

事例 (いつ、どこで、だれが どのような事件か)	
問題点	
参考サイト	サイト名 URL

☞東京オリンピックのロゴ、歌詞のパクリ騒動などニュースになった例を調べてみよう

【実習2】他の人の事例を一つメモしよう。

調べた人	
事例 (簡単に)	

☞他の人の事例で気になったものを1つ簡単にメモしよう。

【実習3】知的財産権の例として、音楽を利用する場合の権利使用料を調べよう ☞JASRACのページ

個人のWebページで曲を流す場合 (非商用利用(収入無)、1曲/月)	
個人のWebページで広告収入を得て 音楽を流す場合(10曲まで/月)	

☞Youtubeの「歌ってみた」は権利使用料を払う必要があるのだろうか？

【実習4】音楽の作詞者・作曲者が得る印税はいくらくらいだろうか。調べてみよう。

音楽を販売したことによる印税 (例) 価格の○%程度	
カラオケで使われた場合の印税	

☞100万枚売れた1000円のCDを作詞・作曲したアーティストにはいくら印税が入るだろうか？

☞作詞者・作曲者以外の人(例えば歌手)に印税は入らないのだろうか？

【知識の整理】

① () = 人間の知的創作活動によって生み出されたものを保護する権利

1) () = 産業に関する権利 (例) 発明、デザイン、ロゴなど

2) () = 文化や芸術に関する権利 (例) 公表、表示、複製するなど

② (産業財産権) = () にアイデアやロゴ・デザインに登録が必要

1) () = 発明を独占して使用できる権利、保護は 20 年

2) () = 小発明・アイデアを独占使用できる権利、保護は 10 年

3) () = マークや文字を独占使用できる権利、保護は 10 年・更新可能

4) () = デザインを独占使用できる権利、保護は 25 年

③ () = 著作物に発生、権利発生に届け出は必要ない ()

1) (著作者人格権) = 公表権・氏名表示権・同一性保持権 → 著作者本人のみ

2) (著作権 (財産権)) = 複製権・上映権・展示権・公衆送信権 → 相続・売買可能

④ () = 著作物の伝達に貢献する実演家、レコード製作者、放送事業者がもつ
無方式主義で発生する。

⑤ 著作者の許諾を得なくとも利用できる例 (著作権法の例外)

1) 保護期間を過ぎた場合 = 著作者の死後 70 年、映画の公開後 70 年を経過したもの

2) 私的使用のための複製 (著作権法 30 条) = (例) 自分で見るための録画・録音

3) 引用 (32 条) = 書籍・論文・Web からの出典・出典箇所を明記しての引用

4) 教育機関における複製 (35 条) = (例) 学校での新聞記事や小説の一部のコピー

5) 非営利目的での演奏 (38 条) = (例) 文化祭での演奏・演劇

第1章 情報社会の問題解決 5. 法の重要性と意義～個人情報

【実習1】自分のスマートフォン・PCに入っている個人情報をあげてみよう

【実習2】実習1で書いたもののうち、流出すると困るものを○で囲もう。

【実習3】自分がインターネット上に公開している個人情報をあげてみましょう

☞ SNS をしている人はそこに掲載している個人情報をあげてみましょう。

【知識の整理】

① () = 特定の個人を識別できる情報 (例) 氏名、住所、生年月日、電話番号
学歴、趣味、購入履歴など組み合わせることで本人と識別できる情報も含む

↑ 保護

② () = 個人情報を扱う企業や団体に、個人情報を適切な管理を求める

1) 内容・個人情報を取得する際は、収集の目的を明らかにし、目的外では使用しない

・個人情報が漏れたり、なくなったりしないよう管理する

・本人の同意がないのに第三者に個人情報を提供してはならない

※例外・法令に基づく場合、生命・身体の保護に必要な場合、

公衆衛生・児童保護に必要な場合は第三者への提供可能

2) 本人の権利 (個人情報取扱事業者に求めることができる権利)

・ () = 見せてもらう、 () = 誤りを直す、 ()

【振り返り】No.4の実習・学習で学んだこと、気づいたこと、考えたことを3行以上書きましょう。